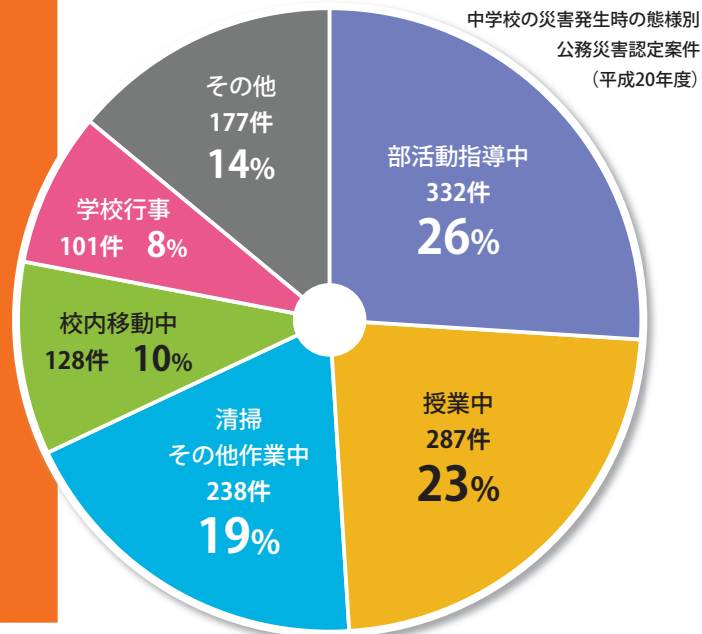


教育職員の 公務災害

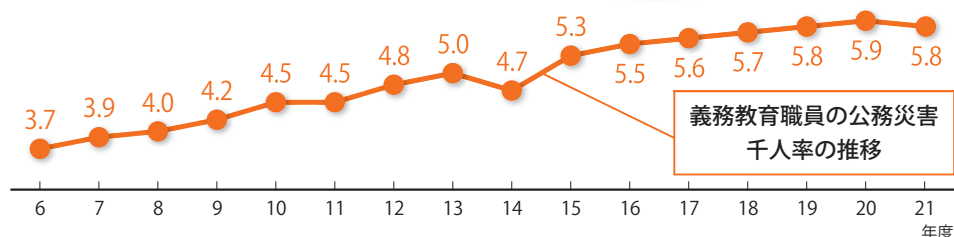
中学校の現場に向けて

平成20年度
公務災害認定
DATA

地方公務員	26,525件
うち教育職員	7,201件
うち給食調理員等を除く分析可能データ	5,166件
うち中学校教員	1,263件
中学校教員1,000人当たり認定件数	5.4件
中学校100校当たり認定件数	12.5件



教育職員の公務災害発生率
が、徐々に増えている傾向
にあります。



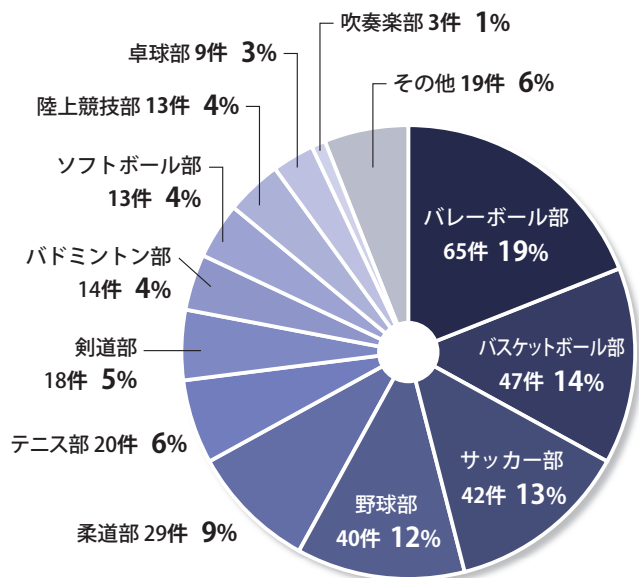
このリーフレットは、平成20年度認定の中学校教育職員公務災害案件1,263件（事務職員・給食調理員・用務員・分析不能案件を除く）を、災害の発生しやすい状況ごとに分類し、災害の傾向を、実際の認定事例とともに示し

たものです。

公務災害防止は、まずその実態を知ることから。中学校の教育現場における安全衛生の向上、公務災害の未然防止に是非お役立てください。

球技の部活動に多く発生。自身の安全にも配慮を

部活動指導中の事故



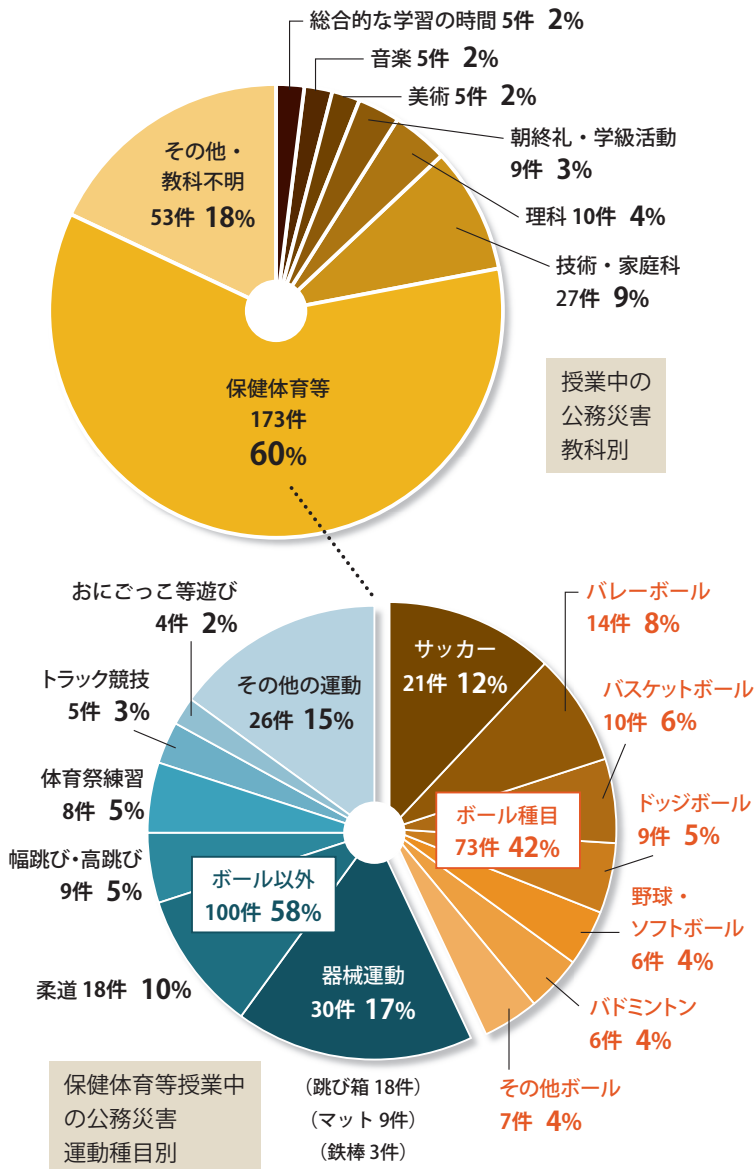
「部活動指導中」の事故は332件と、中学校の公務災害の中で最も多い態様です。災害の多い部活動は「バレーボール部」「バスケットボール部」「サッカー部」「野球部」「柔道部」の順となりました。

【部活動指導中の公務災害事例】

- ゲーム形式の練習でスパイクを打とうと助走し、右足に急激な負荷がかかる。(バレーボール部)
- ゲーム形式の練習で、パスカットしようとして左足を踏み出しアキレス腱を負傷した。(バスケットボール部)
- シュートをゴールキーパーとして受けた際、右手の指先を負傷した。(サッカー部)
- ベースランニングの見本で、本塁から一塁へ全力疾走したところ、左足を負傷した。(野球部)
- 乱取り稽古で、左手で右脚をつかんだ際、相手に脚を踏ん張られて左上腕を負傷した。(柔道部)
- 乱打を行っていた際、ボールを返球するため後退したところ、後ろへ転倒した。(ソフトテニス部)
- 模範指導をしていた際、竹刀の先端が右目にあたり負傷した。(剣道部)
- ゲーム形式の練習で、踏ん張りながらシャトルを返し、右足首に痛みを感じた。(バドミントン部)
- トラック上のサッカーゴールポストを野球部の生徒と移動させた際、生徒が支えられず次々と手を離し、ポストが右足先に落下して負傷した。(陸上競技部)

保健体育の授業に集中。器械運動・球技に警戒を

授業中の事故



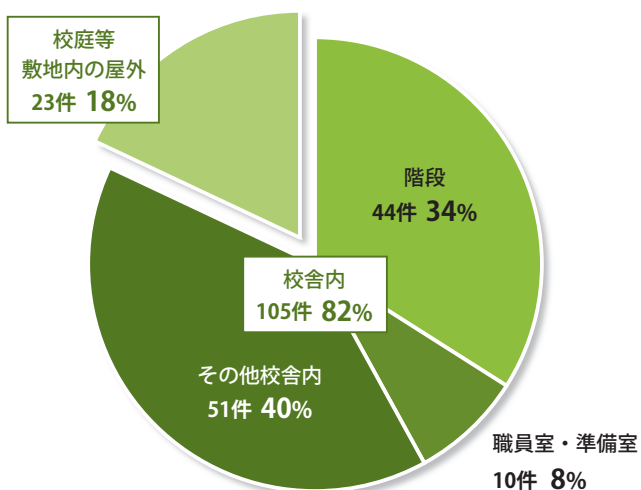
「授業中」の事故は287件と、中学校の公務災害の中で2番目に多い態様です。教科別に見ると、最も多いのが「保健体育等」で、「器械運動」「サッカー」「柔道」「バレーボール」「バスケットボール」の運動種目に事故が多く見られました。

【授業中の公務災害事例】

- マット運動の指導で、後方宙返りの補助をした際に、生徒の手が左眼に当たった。
- サッカー指導中、走り出そうとした瞬間に左足アキレス腱付近に激しい痛みを感じた。
- 柔道指導中、乱取り練習の模範を示す際、相手の身体が右膝上に乗ってしまい、右膝を負傷した。
- バレーボールのパス練習を指導中、生徒が強いボールを蹴り返し、左手のひらに当たり負傷した。
- バスケットボールの指導中、リバウンドを取って着地する際、左足首を強く捻って負傷した。
- 走り幅跳びの試技をしたところ、着地時に足が滑り尻もちをついたが、砂が固くなっていて負傷した。
- 審判として笛を口にくわえながら、ドッジボールに参加し、顔面にボールが当たり負傷した。
- 技術科の授業中、ドリルを固定するねじをきつく締められた際、親指付け根の関節が反対に曲がった。
- 技術科で板を裁断中、親指が回転刃に触れた。
- 理科の実験で、真空ポンプから非常に強い圧力の空気が噴き出し、右目に当たり負傷した。
- 学級活動で教室に入ろうとしたところ、生徒が気付かずに強く閉め、扉の側面が頭に当たり負傷した。

移動中も油断は禁物。階段からの転落に用心を

校内移動中の事故



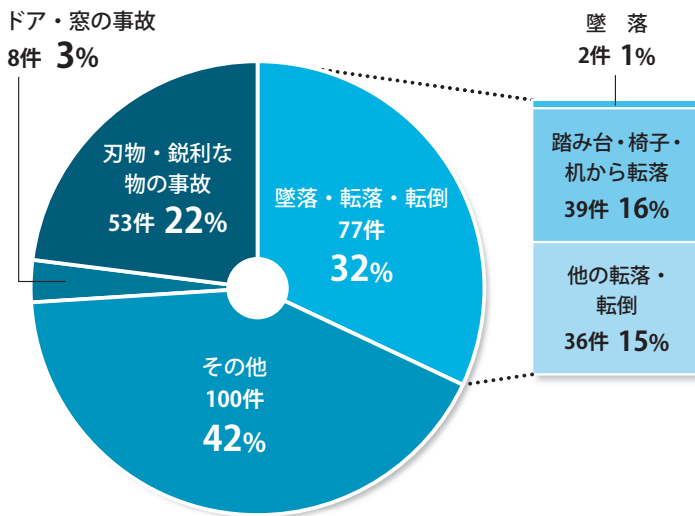
「校内移動中」の事故は128件で、「階段」や「校庭等敷地内の屋外」での事故が多く見られました。

【校内移動中の公務災害事例】

- 手に書類等を持ち足元が見えにくいため、階段の踊り場手前の1段を踏み外し、左足を捻り負傷した。
- 階段で生徒と接触しそうになったため、それを避けようとバランスを崩し、転倒し負傷した。
- 凍結した路面で足を滑らせ転倒した。
- 校舎脇で道が暗かったため、右足を側溝に落として転倒し、顔面を強打して負傷した。
- 渡り廊下の段差につまずいて転倒し負傷した。
- 職員室内のストーブのオイル輸送ゴム管につまずき、頭を緊急放送設備にぶつけ負傷した。
- 廊下を走る生徒を追いかけ、生徒が突然転倒したため、避けようとして自分も転倒し、右肩を負傷した。

踏み台・椅子・机からの転落に要注意

清掃その他作業中の事故



「清掃その他作業中」の事故は238件で、「墜落・転落・転倒」事故が最も多く、中でも「踏み台・椅子・机からの転落」がよく見られました。続いて「刃物・鋭利な物の事故」が多くなっています。

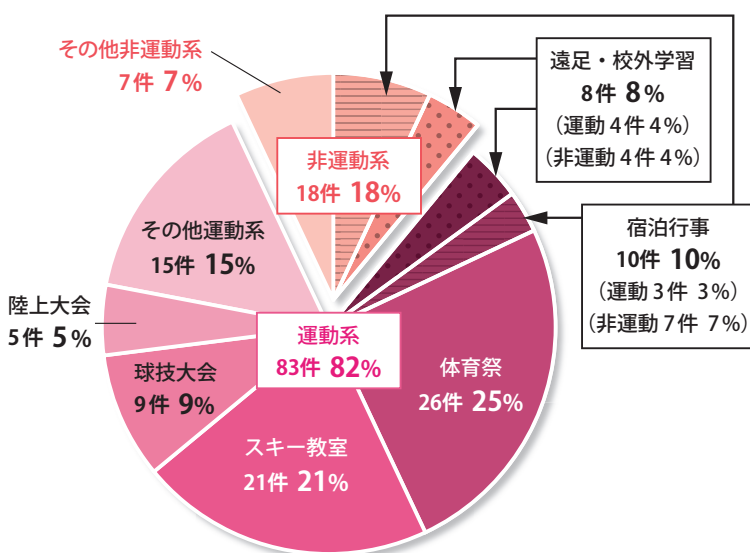
【清掃その他作業中の公務災害事例】

- ワックスがけ作業を行っていたところ、滑りやすい床で足を滑らせ転倒し、後頭部を強打して負傷した。

- 生徒用机の上に椅子を置きカーテンを取り付けたが、机が壊れており、転倒し前歯付近を強打し負傷した。
- プール清掃のため、デッキブラシで底面を磨く作業中、転倒し後頭部をプールの底面に打ちつけた。
- 脚立を使って屋根のポールを回収し戻る際、脚立転倒の危険を察知して飛び降り、右足を捻り負傷した。
- 電動ホチキスが不調になったため、本体を掴んだ際、親指が誤ってホチキスに入り、針が刺さった。
- 体育祭で使用するポンポンの作成中、カッターで親指を切創した。
- 窓ガラスのひび割れにテープを貼って補強していた際、破片で指を切創し負傷した。
- 体育大会に向け、環境整備のため草刈りを行っていた際、鎌で左手小指を切創し負傷した。
- 裁断機に紙くずがはさまり取り除こうとして手を裁断機に入れ、爪を裁断機の刃にあて負傷した。
- 倉庫からの搬出作業中、扉が勢いよく閉まってきて、扉の回転元においた右手人差し指を挟み、負傷した。
- 側溝のコンクリート製の蓋をはめ込もうとしたが、手が滑り自分の足親指の上に落とし負傷した。

体育祭、スキー、宿泊行事、球技大会が危ない

学校行事の事故



「学校行事」の事故は101件で、案件の5件に4件以上が「運動系行事」でした。

行事別で多いのが「体育祭」「スキー教室」「宿泊行事」「球技大会」の順となりました。

【学校行事の公務災害事例】

- 体育祭の騎馬戦で落馬した生徒を受け止めた瞬間、別の生徒が自分の頭上に落下し、負傷した。

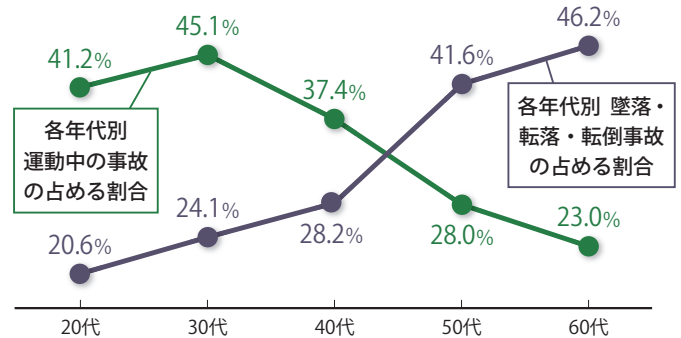
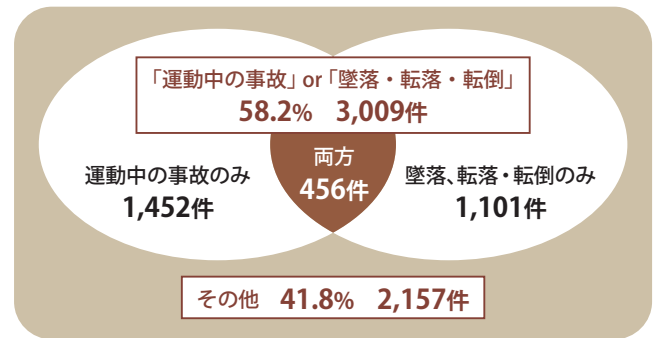
- 部活動対抗障害物リレーに出場し、ドリブルしようとかがみになった時に、顔面から地面に転倒した。
- スキー教室で、リフトで体勢を崩した生徒を支えたが、生徒にスキー板を踏まれて転倒し負傷した。
- 球技大会でゴールキーパーとして参加中、生徒が蹴ったシュートを至近距離から受け、負傷した。
- 新体力テストで伴走したとき、ブツンという音かして激痛が走り、左足を負傷した。
- 炊事遠足で「鬼ごっこ」実施中、石造りの側溝を渡ろうとして、足を滑らせ倒れ、右足首を負傷した。
- 林間学校で生徒の花火に点火したところ、右手親指に花火の火炎があたり、火傷した。
- 修学旅行で、バスから駐車場に降り生徒を誘導中、誤って車止めにつまずいた際、足を骨折した。
- 校外学習の移動中、すずめ蜂に大腿部を刺された。
- 校外学習で、活動をカメラ撮影していた際、地面のくぼんでいる部分に左足をとられ転倒した。
- 文化発表会で体育館2階通路を移動中、暗くて壁際にある電気ボックスに気付かず、足を強打した。

教育職員の公務災害で頻出する事故

校種を問わず教育職員の公務災害で、よく見られる事故は「運動中の事故」(37%・全校種における。以下同じ)と、「墜落・転落・転倒事故」(30%)です。「墜落・転落・転倒事故」は全地方公務員で見ても多い案件ですが、その割合は20%に止まっており、教育職員に特に多く見られます。

この2つのいずれかに該当する案件は、全教育職員の公務災害の58%にも上ります。

教育職員は、ある特定の年代に公務災害が集中して発生していることはありません。しかし、右表のように、年齢が高くなるごとに「運動中の事故」は減るが、「墜落・転落・転倒事故」は増えるという傾向が表れています。こうした傾向を把握して、公務災害を未然に防ぐ対策を立てていきましょう。



公務災害防止に向けた提言

教育職員 へ向けて

- まずは「自分の身は自分で守る」という認識を持つ
- 「公務災害事例」「ヒヤリハット事例」から学ぼう
- 「運動中の事故」に気をつけよう
- 「墜落・転落・転倒」事故に気をつけよう
- 労働安全衛生の知識を習得しよう
- 過重労働を控え、悩みを抱え込まず精神のバランスを保とう
- 経験は「宝」。積み重ねて危機への「対応力」を上げよう
- 必要な「情報共有」は確実に行おう
- 「労働安全衛生活動」の意義を認め、積極的な参加・協力をしよう
- お互い支え合える職場づくりを心がけよう



校長・ 管理職 へ向けて

- 「労働安全文化」を根付かせるため、校長はリーダーシップを発揮しよう
- 「衛生推進者」「衛生管理者」などの人材を大いに活用しよう
- 労働安全衛生に係る職員の提案を生かそう、まかせてみよう
- 労働安全衛生活動は、リスク除去・低減を図る具体的な対策を目指そう
- 職員のリスクへの対応力を上げる人材強化を心掛けよう
- 継続的に取り組もう
- メンタルヘルス・過重労働対策を推進しよう
- 風通しの良い職場づくりを目指そう



教育委員会 へ向けて

- 「労働安全衛生規程」を定め、意思、責任者、立場を明確化しよう
- 継続的に取り組もう
- 労働安全衛生に関する校長の意識を高めよう
- 「衛生推進者」「衛生管理者」などの人材育成を行おう
- 多くの教育職員に安全教育を実施しよう
- 各学校現場の労働安全衛生文化の育成状況を確認しよう
- 現場の自主的な活動に資する教材等の開発を検討しよう
- 適宜、必要な情報提供や啓発を行ってこよう
- 知恵と工夫のある取り組みを心掛けよう
- メンタルヘルス・過重労働対策を推進しよう

